

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊丹市	代表者名	藤原 保幸
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	072-784-8018
担当者役職	事務員	担当者氏名	花高 舞
住所	664-8503 兵庫県伊丹市千僧1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡田 亮介
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	デジタル化に向けて、行政特有の課題や組織運営などについて話を伺えた。また本市に土地勘があり、伊丹のことをよく知っていることから、的確で非常に有用な助言を得られた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月30日	11時00分	15時00分	60	180
3-2. 派遣場所	会場名	伊丹市役所		最寄駅	阪急伊丹駅
	所在地	兵庫県伊丹市千僧1-1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	これまでのIT化で求めた業務効率化だけではなく、市民にとってどのような便益がもたらされるかという市民目線を持ち、全体最適の視点から行政サービスをできるよう、行政デジタル化に関する感度を持った職員の育成が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	行政課題の解決や生産性向上のためのデジタル技術活用、また政策立案の精度向上のためのデータ活用を推進するにあたっての職員の意識醸成。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	伊丹市のデジタル化に向け、目指すべき方向性や今後の課題等の助言、職員に向けた研修会の打合せ。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	行政のデジタル化について、岡田氏より意見を聞いたことにより、組織の在り方や職員の意識改革の必要性について、改めて認識することが出来た。また研修会の目的、内容、対象等について調整を行った。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	事前打合せのため、具体的な成果物はなし。 次回以降、研修会を実施予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打合せのみのため、アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

